

令和8年度のごあいさつ

将来の予測が困難な時代にあって、少子高齢化の進行、技術革新の著しい進展、さらにはグローバル化の拡大といった社会構造の急激な変化に加え、近年の緊迫した国際情勢を背景として、社会はかつてない速度で変化を続けています。

このような社会を生きる子どもたちが、未来を力強く切り拓いていくためには、時代の要請を的確に捉えた、ダイナミックかつ質の高い教育の展開が不可欠であると考えています。

本校では、社会の変化に柔軟に対応しながらも、「人」を育む教育の本質を何よりも大切にし、子どもたち一人ひとりの学びに寄り添い、その可能性を最大限に引き出す教育を推進しています。

また、現代の学校教育は、学校のみで完結するものではなく、地域社会とのつながりの中にこそ、子どもたちの確かな成長が育まれるものと捉えています。

その理念のもと、本校では平成27年度に学校運営協議会を設置し、地域・保護者・学校が連携・協働しながら、子どもたちの豊かな成長を支える「地域とともに歩む学校づくり」に取り組んでいます。

その特色として、平成21年に創設された「東中ファミリーサポーターズ」を核として、地域に根ざした多様な教育活動を展開してきました。スタディ、スマイル、ライブラリー、グリーン、カルチャー、ハートフルサポーターといった各サポートと連携することで、学校力の一層の向上に努めています。

さらに、本校では重点目標である「み・そ・あ・じ」（みだしなみ・そうじ・あいさつ・じかんを守る）や、「無言清掃」といった特色ある教育活動を継続して実践し、子どもたちの学力の向上のみならず、人間力の育成にも力を注いでいます。

とりわけ、「無言清掃」を通して、感謝の心、気づく心、親切な心、正直な心、思いやる心という五つの心を育み、日々の生活の中で実践できる豊かな心の涵養を図っています。

このように本校では、教職員、保護者、地域が相互に信頼関係を築き、コミュニケーションを図りながら、子どもたちの健やかに豊かな成長について、ともに考え、高め合う風土を醸成しています。

時代とともに求められる教育の姿が変化するのは当然のことであり、その中にあっても、教育の不易と流行を見極めつつ、教職員一丸となって教育活動に邁進できる体制づくりを進めてまいります。

さて、本校は昭和22年に開校し、創立79周年を迎える伝統ある学校です。昭和30年に校舎を現在の地へ移転し、これまでに20,957人の卒業生を社会へ送り出してまいりました。

本年度は、通常学級19学級、特別支援学級6学級の計25学級を編成し、全校で675名の生徒が在籍しています。

本年度も、子どもたちが毎日「元気に登校し、笑顔で下校」できるとともに、子どもたちにとって「毎日通いたい学校」、保護者にとって「安心して毎日通わせたい学校」、地域にとって「誇りを感じられる学校」、そして教職員にとって「働きがいがあり、自分の力を存分に発揮できる勤めたい学校」となるよう不断の努力を重ねてまいります。

保護者並びに地域の皆様におかれましては、今後とも本校教育活動への温かいご理解とご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年4月1日

伊丹市立東中学校
校長 前田 徳三